



# たむら支援学校だより 3月号

## 令和3年度を振り返って(その2)



R4. 3. 17

今年度も感染症拡大防止のための活動制限等があり、校外学習の中止や学校行事の変更等、いつもと違う一年間でしたが、子どもたちは元気に、学習活動に一生懸命に取り組んできました。

一人一人が毎日がんばっている姿が、私たち教員の励みと大きなエネルギーになりました。

子どもたちへ「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。そして、保護者の皆様、毎日の御協力ありがとうございました。地域の皆様には、子どもたちの見守りと体験活動等の御理解・御支援をいただきありがとうございました。

おかげさまで、制限等あるなかでも充実した教育活動を一年間行うことができました。

これからも本校への御協力と御支援をどうぞよろしくお願いいたします。

校長 菅野 美恵子

### 日常生活の中で学び、培っていく力

### ～給食編～

現在は感染症対策のため、小学部中学部の児童生徒は、食後の片付けやごみ捨てを担当しています。



食べた後の食器もきれいに重ねて、ワゴンをゆっくりと運ぶことができるようになりました。給食を作ってくれる調理員さんたちへの感謝の気持ちをこめて、もう一度『ごちそうさまでした。』の挨拶をします。ごみ捨て等も担当を決めて毎日行います。感謝の心や自分の役割意識を育てることで、社会の一員として働く力の基礎にもなります。

### 小学部 卒業おめでとう会:3月7日



小学部4年生・5年生が、進行やはじめのことばを担当しました。卒業生の7名からは、小さい頃の写真と、現在の自分のがんばっていることや得意なこと、将来の夢の発表がありました。在校生からは、それぞれが作ったプレゼントを6年生に渡し、『ありがとう』の気持ちを伝えました。最後にみんなでダンス「つばめ」を踊り、楽しい会となりました。

## 中学部

卒業を祝う会:3月10日(木)



中学部は、4名が卒業生しました。在校生からは、全員で作った「お祝いの言葉」で卒業生一人一人にメッセージや感謝の気持ちを伝えたり、心を入れて作ったプレゼントを贈ったりしました。卒業生からは、学校での思い出やこれから頑張ること等の発表、そして在校生への感謝の言葉がありました。高等部でも元気に楽しく頑張ってください。

## 高等部

高等部では、3月1日(火)に卒業式を行い、13名が学び舎を巣立ちました。

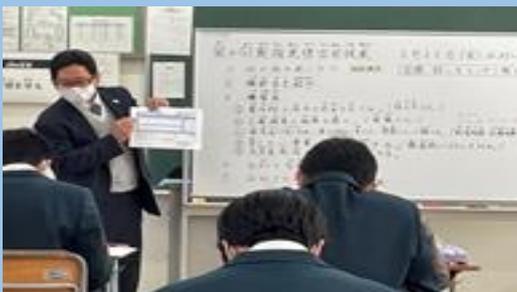
進路先は下記のとおりです。卒業生は4月から社会人になります。これまで学校で培った力と自分のよさを発揮して、それぞれの場所で活躍してくれると期待しております。



進路先(略称): 三春工業株式会社、株式会社ビューティージャパンプロダクツ福島工場  
大橋機産株式会社、北信福社会ハッピー愛ランドたむら、株式会社武蔵野、田村市授産場  
でんでんむし、アクセスホームさくら、SOCIALSQUARE就労移行支援、就労支援センター船引

高等部では、今年度も様々な機会に、外部講師の方に大変お世話になりました。

その一つである、「農福連携事業」の出前授業では JA 福島中央会の職員の方、JA 福島さくらの職員の方、地域の農家の方を講師に迎え、本校の畑の土の科学的分析をもとに、どのような農作物が適しているかをアドバイスいただきながら、自分たちが栽培したい野菜を考えました。来年度も栽培等で御支援いただき、美味しい野菜を育てます。



今年度も保護者の皆様、地域の皆様方から多方面に渡っての御支援を賜り、ほんとうにありがとうございました。これからも、たむら支援学校の子供たちへの御支援をよろしく願いいたします。校長 菅野 美恵子